

第50回優秀畜産技術者表彰受賞者業績概要

阿南 加治男	<p>大分県 農林水産研究指導センター 畜産研究部 豚・鶏チーム 主幹研究員 産卵率を高めた「おおいた烏骨鶏」や短期出荷可能な「おおいた冠地どり」など長年にわたり地域の特産鶏の開発・普及を行ってきた。またその鶏種の供給および飼養管理技術の指導を生産者に対して行うなど、地域特産品の普及に尽力している。</p>
梅田 剛利	<p>福岡県農林業総合試験場 バイオマス部 バイオマスチーム 専門研究員 自給粗飼料の刈り取りステージの違いが乾物摂取量に及ぼす影響を示す情報として酪農家での給与設計に活用され泌乳量向上に貢献している。また、泌乳初期のTDN水準を77%まで上げることで高泌乳牛の乳生産性および繁殖性向上につながることを明らかにした。</p>
及川 俊徳	<p>宮城県畜産試験場 酪農肉牛部 バイオテクノロジー研究チーム 主任研究員 顕微授精技術の開発による性判別・優良精子・希少精子を有効活用した受精卵移植の改善を行い、体外受精技術を利用した能力評価期間の短縮や食肉市場で採取した卵巣から体外受精卵を作成することで、乳牛も利用した県内の地域循環型黒毛和牛生産システムを構築した。</p>
小嶋 禎夫	<p>東京都農林総合研究センター 生産環境科 科長 食品残さを産卵鶏飼料として活用し、産卵成績や卵殻質に及ぼす影響や安全性を確認した。またBLUP法アニマルモデルにより銘柄豚トウキョウXの系統造成に取り組んだ。さらに烏骨鶏肉の機能性解明に取り組み、抗酸化性ペプチド含量がブロイラーの2倍あること等を明らかにした。</p>
佐藤 義人	<p>(地独) 青森県産業技術センター 畜産研究所 酪農飼料環境部 研究管理員 積雪寒冷地で利用可能な「あおもり型汚水処理施設」の開発と、リンゴジュース粕などの食品加工残さを副原料とした家畜糞尿からのバイオガス生成技術の開発の他に施肥によるイオンバランス制御やモアコン装着追播機を考案し、刈取同時追播によるチモシー草地へのマメ科導入技術を確立した。</p>
高橋 利清	<p>秋田県農林水産部 畜産振興課 主査(兼) 秋田県畜産試験場 主任研究員 牛受精卵の急速ガラス化保存法の直接融解技術を開発し、県外からも技術研修を受け入れて普及に努めている。また、牛精子の凍結処理時の希釈液を改良し、処理時間を延長することで凍結後の精子運動性が改善されることを明らかにし、生産現場での利用性向上に寄与した。</p>
高平 寧子	<p>富山県農林水産総合技術センター 畜産研究所 主任研究員 黒毛和種肥育牛における飼料稲の利用に関する試験研究で幅広い取り組みがあり、ソフトグレインサイレージや稲WCS、飼料用米のほか、生稲わらサイレージの肥育牛への給与技術の他、生米ぬかも利用した発酵TMR給与技術など、地域内の自給飼料を活用した肥育技術開発に貢献している。</p>
出口 健三郎	<p>北海道立総合研究機構 畜産試験場 飼料環境グループ 主査 近赤外分析による粗飼料成分分析の精度向上に向けた高精度検量線の開発により、北海道内だけでなく全国的なフォーレジテストの普及に貢献した。また全国的な消化試験データに基づくTDN推定式についても、汎用性が高く広く利用されており、自給飼料活用による畜産振興に貢献してきた。</p>
福井 弘之	<p>徳島県立農林水産総合技術支援センター 畜産研究課 専門研究員 飼料作物奨励品種の選定や飼料イネの品種選定の他、地域の自給飼料主体の発酵TMR技術開発、再生稲を利用した周年放牧技術など幅広く飼料作技術開発に貢献している。また、生研センターと連携し、変形や破損を防止できるベールグリッパの開発など作業技術研究にも寄与した。</p>
古屋 元宏	<p>山梨県 畜産試験場 主任研究員 新銘柄豚「甲州富士桜ポーク」の系統開発やワインラム生産などブドウ絞り粕等地域のエコフィードの飼料化技術開発を行った。また、鶏ふん由来の温室効果ガスインベントリ係数の算出や畜産環境対策で悪臭の測定・評価方法の改善、家畜排泄物法に基づく農家指導など幅広い貢献がある。</p>

注：所属及び役職は、審査・選考時点のものを記載しております。